丹波市総合計画　令和4年度　施策評価シート

まちづくりの目標	6	丹波力を活かした創意ある元気なまち
施策目標	3	【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう
施策の展開	① ② ③	観光資源の魅力を高める ストレスを感じることなく、観光を楽しめる環境を整備する 丹波市の観光を基幹産業化する

施策担当課	観光課
関係課	観光課

1　施策の現状・推移

5年後のまちの姿	・魅力ある観光地や本市の特産品を使った食事や土産物が楽しめます。 ・観光に係る環境整備が進み、観光客の満足度は高まり、リピーターが増加しています。

2　成果指標・コストの推移

		単位	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
成果指標	年間観光入込客数	万人	目標	230	240	248	255	263	270	
			実績	222.3	157.6	171.7	197.0			
	来訪者の満足度	%	目標	－	76.0	77.0	78.0	79.0	80.0	
			実績	76.8	82.2	81.0	74.8			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
コスト	人件費	千円	実績	61,734	78,940	75,660	67,030	—	—	
	事業費	千円	実績	210,494	260,435	416,242	280,078	—	—	
	計	千円	実績	272,228	339,375	491,902	347,108	—	—	
	うち一般財源	千円	実績	244,421	224,445	233,535	182,808	—	—	

3　環境変化

国・県の方針、関連法令の動向	【国】 インバウンドの再始動にあたり、インバウンド関連の補助メニューを拡充している。 【兵庫県】 2025年大阪・関西万博に兵庫棟を出展し、万博会場から県内への誘客を促進する。
市民ニーズの動向	・物消費からコト消費に変化している。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行形態の主流が団体旅行から個人旅行に変化している。

4　評価

目標の達成状況は順調か。達成していない原因は何か。	・観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から減少したが、旅行制限の緩和等により回復しつつある。 ・来訪者の満足度は、市独自の観光アンケート調査において満足度を調査しており、令和4年度は74.8%となっているが、観光スポットや案内所等でのおもてなしに満足されている。
環境変化を踏まえた施策展開となっているか。	・道の駅丹波おばあちゃんの里を起点とした市内周遊により、地域が儲かる事業（ガチャ、スタンプラリーなど）を実施。 ・道の駅丹波おばあちゃんの里のトイレ改修と親子トイレの新設工事を実施。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、公衆トイレや指定管理施設のトイレ洋式化工事を実施。
事業の構成や役割分担で見直しの余地がないか。	—

5　今後の改革方向

施策の今後の方向性、構成する事務事業の見直し案	・市内周遊の促進と地域が儲かる（地域消費）仕組みと事業展開により地域活性化を図る。 ・2025年大阪・関西万博とその後を見据えた観光振興事業を展開していく。 ・指定管理者導入施設の維持管理と、廃止譲渡に向けての調整を行っていく。

●構成する事業一覧　（令和　4　年度実施事業）

事務事業名	予算小事業名	人件費【千円】	事業費【千円】	計・千円	うち一般財源	必要性	効果性	コスト	公平性
観光振興事業		35,102	136,176	171,278	71,623	A	B	B	該当なし
	観光総務費								
	観光振興事業								
	観光拠点整備事業								
公園・公衆トイレ維持管理事業		13,555	54,924	68,479	25,514	A	B	A	該当なし
	公衆トイレ維持管理事業								
	公園管理事業								
指定管理者導入施設管理事業（観光課）		16,391	80,821	97,212	83,689	A	B	B	A
	指定管理者導入施設管理事業								
受託施設管理事業		1,982	8,157	10,139	1,982	A	B	A	該当なし
	受託施設管理事業								
合計		67,030	280,078	347,108	182,808				

丹波市総合計画　令和　4　年度事務事業評価　／　令和　5　年度実施計画

事務事業名	観光振興事業				
事業担当課	産業経済部　観光課		事業期間	平成　18 ～　令和9　年度	
	所属長	藤原　猛雄	担当	藤原　宏康	担当

位置づけ			
総合計画	まちづくり目標	【６】丹波力を活かした創意ある元気なまち	
	施策目標	3【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう	
創生総合戦略	基本目標		
	施策		
まちづくりビジョン	取組項目	(7)観光による地域振興	
根拠法令・個別計画等	観光立国推進基本法、丹波市観光・商工業振興ユニティプラン		

計画（PLAN） 事務事業				
対象（誰を、何を）	本市を訪れた観光客、本市を訪れたことのない観光客、観光関連の事業者			
目的 ベストな状態 （期待される効果）	・多くの観光客が本市の魅力を知り、市内への来訪者が増加する。 ・観光資源の発掘・研磨・活用と本市の魅力発信により、本市の認知度及び丹波市ファンが増加する。 ・観光推進組織（丹波市観光協会）による市内周遊の促進と、地域が儲かる仕組が構築するなどにより観光が基幹産業になっている。			
概要 （具体的手段・全体計画）	・観光資源の発掘・研磨・活用 ・観光情報の発信（観光サイトSaturdayTamba・リーフレット・広告等） ・補助金による支援（丹波市観光協会補助、周遊バス旅行促進事業補助、観光施設整備事業補助） ・観光の拠点施設（「道の駅」丹波おばあちゃんの里）再整備 ・観光推進組織（丹波市観光協会）による観光戦略事業			
令和４年度の事業概略	・「道の駅」丹波おばあちゃんの里の再整備工事（トイレ新設及び既存トイレ改修） ・各団体への補助金交付と事業確認 ・観光誘客キャンペーン事業の実施 ・観光情報サイト等での情報発信 ・丹波市観光・商工業振興ユニティプラン改定	令和５年度の事業概略	・各団体への補助金交付と事業確認 ・大阪・関西万博とその後を見据えた観光振興事業の検討 ・観光情報サイトでの情報発信 ・各種広告による情報発信 ・青垣、山南地域周遊旅行商品の造成 ・イベント参加（兵庫ＤＣ・お城ＥＸＰＯほか）	

実施（DO）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出　総事業費　Ａ＋Ｂ	132,919	98,607	348,364	171,278	99,638	98,543	
直接事業費Ａ	90,475	58,506	319,038	136,176	64,536	63,441	
総人件費計（Ｅ＋Ｈ）Ｂ	42,444	40,101	29,326	35,102	35,102	35,102	
職員従事者数（人・年）Ｃ	5.46	4.11	3.48	4.36	4.36	4.36	
【平均人件費】Ｄ	7,400	7,460	7,620	7,430	7,430	7,430	
人件費Ｅ＝Ｃ×Ｄ	40,404	30,661	26,518	32,395	32,395	32,395	
会計年度任用職員従事者数（人・年）Ｆ	1.02	4.00	1.19	1.07	1.07	1.07	
【平均人件費】Ｇ	2,000	2,360	2,360	2,530	2,530	2,530	
人件費Ｈ＝Ｆ×Ｇ	2,040	9,440	2,808	2,707	2,707	2,707	
歳入　特定財源	10,967	7,280	249,738	99,655	28,014	9,213	
国・県支出金	10,654	7,005	156,926	35,454	9,207	9,201	
借入金（地方債）	0	0	92,800	56,900	2,400	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
その他特財	313	275	12	7,301	16,407	12	
一般財源	121,952	91,327	98,626	71,623	71,624	89,330	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	観光ホームページ、SNSの総レビュー件数（SaturdayTamba）	件	目標	-	200,000	229,000	235,000	257,000	260,000	
			実績	-	222,550	194,344	264,445			
成果	「道の駅」丹波おばあちゃんの里入込客数	人	目標	-	260,000	400,000	430,000	460,000	500,000	
			実績	370,344	282,123	252,423	393,696			
活動	メディアへの観光情報のプレスリリース回数	回	目標	-	5	10	10	10	10	
			実績	7	3	13	7			
			目標							
			実績							
コスト	観光ホームページ１レビュー当たり（観光振興事業のうち負担金補助を除く経費）	円	目標	-	26.0	59.0	91.4	44.4	43.9	
			実績	-	21.9	63.3	53.4			
コスト			目標							
			実績							

指標の推移等の背景・分析	
	・令和２年度から観光サイト「SaturdayTamba」の運用開始に伴い、HPレビュー件数にSNSのリーチ件数を合わせた件数を指標にし、情報発信の時期、内容、回数や見せ方などを工夫し、'知っていただく'きっかけにつなげる情報発信を行う。併せて魅力ある観光情報を効果的に発信する件数を指標とする。 ・道の駅丹波おばあちゃんの里再整備に伴い、周遊起点となる道の駅丹波おばあちゃんの里入込客数を指標として周遊促進と消費拡大につなげる仕組みと効果を図る。

事務事業名	観光振興事業		
事業担当課	産業経済部　観光課	事業期間	平成　18 ～　令和9　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	道の駅丹波おばあちゃんの里トイレ新設及び改修工事や、市内周遊促進キャンペーン（ガチャガチャ、デジタルスタンプラリー）の実施、SaturdayTambaによる情報発信と各種広告掲載により、丹波市PRと市内周遊による地域消費を促し地域活性化につなげた。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	地方創生臨時交付金や、地方創生推進交付金を活用し、コロナからの回復などの観光振興事業が実施できた。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	・観光サイト「SaturdayTamba」の定期的な記事更新と合わせ、SNSにおいて頻繁に情報をアップしたことにより、コロナ禍においても行動制限が無くなったこともあってかレビュー件数が昨年度以上の件数となった。 ・道の駅丹波おばあちゃんの里入込客数は、リニューアルによる話題性もありコロナ禍においても集客が回復してきた。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	該当なし	

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

・丹波市観光協会の体制並びに事業内容の整理と補助金精査
・道の駅丹波おばあちゃんの里トイレ新設及び改修工事完了（令和５年３月17日、新設トイレのオープンセレモニー実施）
・新型コロナ関連の事業として、丹波市観光協会補助金のうちの地域活性化事業、周遊バス旅行促進補助事業、丹波市の魅力発信広告事業、観光誘客キャンペーン事業を地方創生臨時交付金で実施した。

今後の方向性・改善策等

・地域が儲かる仕組みづくりの事業展開
・2025年大阪・関西万博とその先を見据えた観光振興事業の展開

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充		✓		
現状維持				
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	観光総務費	1,117	1,199	1,268	1,738	1,738	
2	観光振興事業	39,522	49,578	58,279	62,798	61,703	
3	観光拠点整備事業	7,162	124,127	72,475			
4	大河ドラマを活かした観光推進事業	10,705					
5	観光振興事業（繰越分）		7,625				
6	観光拠点整備事業（繰越分）		136,509	4,154			
7							
8							
9							
10							
合計		58,506	319,038	136,176	64,536	63,441	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	

丹波市総合計画　令和　4　年度事務事業評価　／　令和　5　年度実施計画

事務事業名	公園・公衆トイレ維持管理事業				
事業担当課	産業経済部　観光課		事業期間	平成　18 ～　無期　年度	
	所属長	藤原　猛雄	担当	中川　秀晴	担当　高瀬　勇志

位置づけ			
総合計画	まちづくり目標	【６】丹波力を活かした創意ある元気なまち	
	施策目標	3【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう	
創生総合戦略	基本目標		
	施策		
まちづくりビジョン	取組項目	(7)観光による地域振興	
根拠法令・個別計画等	丹波市観光・商工業振興ユニティプラン		

計画（PLAN） 事務事業			
対象（誰を、何を）	公園、公衆便所利用者		
目的 ベストな状態 （期待される効果）	各施設において適切に維持管理を行い、利用者が、安全・安心、そして清潔で気持ちよく利用できる。		
概要 （具体的手段・全体計画）	・公園（水分れ公園、川代公園、井原であい公園、桜堤公園、長谷大池展望台、横峰山頂公園）の維持管理 ・公衆便所（柏原町観光トイレ、甲賀山公園公衆便所、岩瀧寺渓谷公衆便所、もみじの里公衆便所、仏師の里公衆便所、興禅寺下休憩所トイレ、石龕寺下公衆便所、やぐら公園トイレ、大名草公衆便所【近畿自然歩道】、谷川駅前公衆トイレ）の維持管理 ・実施方法：業務委託 ・委託先：公園管理（公財）丹波市シルバー人材センター、（株）ネクステ、上久下地区自治振興会、井原自治会、国領自治会、上垣市島ジュニアの会 公衆便所　成松連合区、大名草自治会		
令和４年度の事業概略	・公園管理及び草刈り剪定業務、保守管理委託 ・公衆トイレ改修工事 ・公衆便所維持管理業務　・浄化槽保守点検業務 ・清掃業務　・土地及び建物賃貸借契約の締結 ・水分れ公園人工滝ポンプ場改修工事実施設計業務及び工事 ・水分れ公園（こどもひろば）測量業務 ・水分れ公園こどもひろば整備工事	令和５年度の事業概略	・公園管理及び草刈り剪定業務、保守管理委託 ・公衆便所維持管理業務　・浄化槽保守点検業務 ・清掃業務　・土地及び建物賃貸借契約の締結 ・水分れ公園人工滝ポンプ場改修工事（繰越）

実施（DO）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出　総事業費　A＋B	26,717	62,702	34,613	68,479	27,158	34,551	
直接事業費A	19,993	49,519	18,558	54,924	13,603	20,996	
総人件費計（E＋H）B	6,724	13,183	16,055	13,555	13,555	13,555	
職員従事者数（人・年）C	0.86	1.59	1.98	1.30	1.30	1.30	
【平均人件費】D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,430	7,430	
人件費E＝C×D	6,364	11,861	15,088	9,659	9,659	9,659	
会計年度任用職員従事者数（人・年）F	0.18	0.56	0.41	1.54	1.54	1.54	
【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,530	2,530	
人件費H＝F×G	360	1,322	968	3,896	3,896	3,896	
歳入　特定財源	260	34,849	291	42,965	293	293	
国・県支出金	206	475	206	31,957	206	206	
借入金（地方債）	0	34,300	0	7,400	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
その他特財	54	74	85	3,608	87	87	
一般財源	26,457	27,853	34,322	25,514	26,865	34,258	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	公園利用者数	人	目標	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	
			実績	41,127	35,512	25,410	71,143			
活動	公衆便所清掃回数	回	目標	-	790	790	790	790	790	
			実績	-	790	801	800			
活動	トラブル対応件数	件	目標	-	0	0	0	0	0	
			実績	-	11	20	18			
			目標							
			実績							
コスト	公園１施設当たりコスト（工事請負費を除く）	千円	目標	-	-	3,160	3,160	3,160	3,160	
			実績	-	3,161	2,893	3,035			
コスト	公衆便所１施設当たりコスト（工事請負費を除く）	千円	目標	-	-	800	800	800	800	
			実績	-	800	954	865			

指標の推移等の背景・分析	
	・令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客数が減少したが、令和４年度は感染者数等も落ち着き始めたことや５類に移行されたこともあり、大幅に利用者数が伸びた。 ・トラブル件数については、屋外トイレのため冬場の凍結による漏水が発生しやすい状況にあり、なかなか件数が減少しない。

事務事業名	公園・公衆トイレ維持管理事業		
事業担当課	産業経済部　観光課	事業期間	平成　18 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	公園は、市内外にとって憩いの場であり、子育て等を応援するまちづくりをするうえで必要な事業である。 また、公衆便所は、イベント時、桜や紅葉の時期の観光目的等で来られた際に利用されることが多く、両事業とも必要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	A	維持管理については、丹波市シルバー人材センター、ネクステ、振興会及び自治会となっており、既に低コストで実施している。必要な経費のほとんどが人件費であるため、コスト削減は困難である。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	指標に対する評価として、今年度はコロナ禍の影響は少なくなり、利用者数は増加している。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	該当なし	

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
・今年度は、コロナ感染症拡大の防止対策としてトイレの改修（洋式化、自動水洗化、LED照明化）及び水分れ公園こども広場整備工事を年度内完了できた。
・公園整備方針に基づき、計画どおり年度内に工事を完了することができた。

【課題】
トラブルに対する対応策の検討

今後の方向性・改善策等

老朽化していく躯体の改修計画の策定及び実施

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				
現状維持			✓	
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	公衆トイレ維持管理事業	5,106	9,265	13,807	5,095	8,575	
2	公園管理事業	38,691	9,293	34,317	8,508	12,421	
3	過年発生分観光施設災害復旧事業	5,722					
4	公衆トイレ維持管理事業（繰越分）			2,068			
5	公園管理事業（繰越分）			4,732			
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		49,519	18,558	54,924	13,603	20,996	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	

丹波市総合計画　令和　4　年度事務事業評価　／　令和　5　年度実施計画

事務事業名	指定管理者導入施設管理事業（観光課）				
事業担当課	産業経済部　観光課			事業期間	平成　18 ～　無期　年度
	所属長	藤原　猛雄	担当	中川　秀晴	担当

位置づけ			
総合計画	まちづくり目標	【６】丹波力を活かした創意ある元気なまち	
	施策目標	3【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう	
創生総合戦略	基本目標		
	施策		
まちづくりビジョン	取組項目		
根拠法令・個別計画等	丹波市観光・商工業振興ユニティプラン		

計画（PLAN）

事務事業				
対象（誰を、何を）	指定管理者に指定された団体及び施設利用者			
目的 ベストな状態 （期待される効果）	観光課が所管する公の施設の管理・運営を行う上で、民間のノウハウを導入または施設に特化した独自の方法により、施設利用者の消費拡大、市民雇用の増加などにより地域の活性化が図れる。			
概要 （具体的手段・全体計画）	・指定管理者導入施設（丹波悠遊の森、旧氷上高等小学校校舎、ウッディプラザ山の駅、丹波いっぷく茶屋、今出川親水公園、ゆりやまスカイパーク、薬草薬樹公園、大杉ダム自然公園）の健全運営に対する支援及び施設の躯体にかかる大規模工事及び修繕を実施する。 ・今後の施設のあり方（選定方法、譲渡・廃止等）を検討する。 ・実施方法：指定管理 ※ゆりやまスカイパークは、指定管理者不在			
令和４年度の事業概略	・年度協定の締結 ・丹波悠遊の森エナガ棟浴室新設等工事（トイレ改修工事含む） ・大杉ダム自然公園トイレ改修工事 ・今出川親水公園トイレ改修工事 ・今出川親水公園備品購入 ・土地賃貸借契約の締結	令和５年度の事業概略	・年度協定の締結 ・丹波悠遊の森常設テント基礎改修工事 ・丹波悠遊の森浴室等改修工事実施設計業務 ・今出川親水公園整備工事 ・土地賃貸借契約の締結	

実施（DO）

コスト（単位：千円）（評価年度は実績、計画年度は予算）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出　総事業費　Ａ＋Ｂ	103,152	166,375	97,021	97,212	91,601	95,206	
直接事業費Ａ	91,770	144,449	70,336	80,821	75,210	78,815	
総人件費計（Ｅ＋Ｈ）Ｂ	11,382	21,926	26,685	16,391	16,391	16,391	
職員従事者数（人・年）Ｃ	1.33	2.80	3.09	2.08	2.08	2.08	
【平均人件費】Ｄ	7,400	7,460	7,620	7,430	7,430	7,430	
人件費Ｅ＝Ｃ×Ｄ	9,842	20,888	23,546	15,454	15,454	15,454	
会計年度任用職員従事者数（人・年）Ｆ	0.77	0.44	1.33	0.37	0.37	0.37	
【平均人件費】Ｇ	2,000	2,360	2,360	2,530	2,530	2,530	
人件費Ｈ＝Ｆ×Ｇ	1,540	1,038	3,139	936	936	936	
歳入　特定財源	8,537	64,836	26	13,523	3,930	30	
国・県支出金	0	7,868	0	13,492	0	0	
借入金（地方債）	4,000	56,500	0	0	3,900	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
その他特財	4,537	468	26	31	30	30	
一般財源	94,615	101,539	96,995	83,689	87,671	95,176	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	施設利用者数	人	目標	210,000	180,000	183,600	187,200	190,800	194,400	令和２年度を基本 毎年度２％増
			実績	174,564	103,461	113,173	128,453			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
コスト	１施設当たりコスト	千円	目標	-	-	11,580	12,947	12,947	12,947	
			実績	-	11,580	11,612	14,193			
コスト	指定管理料0円の施設数	施設	目標	-	9	9	8	8	8	
			実績	-	3	3	2			

指標の推移等の背景・分析	本年度は、令和2年度及び3年度に比べ利用者数は増加したが、コロナ禍前の約70%とまだまだ伸び悩んでいる状況である。指定管理施設の中でも、キャンプ場（コテージ含む）は、利用者数は大きく伸びているが、飲食については、物価高騰や団体から少人数での利用となるなど変化が見られる。

事務事業名	指定管理者導入施設管理事業（観光課）		
事業担当課	産業経済部　観光課	事業期間	平成　18 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	・各施設における条例において指定管理者に行わせるものとなっている。 ・住民の福祉の向上、都市部との交流及び観光振興等を目的とした公の施設であるため必要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	各施設は、指定管理者により管理運営を行っており、業態や規模等が違うため、サービスを維持しつつ低コストを実現するのは難しい面がある。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	今年度においても少なからずコロナ禍による影響もあり利用者数は、目標値を達成することができなかった。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	A	施設によっては使用料金を定め、受益者（利用者）による負担のため、問題はない。

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
・住民の福祉の向上、観光振興等を目的とした公の施設であり、指定管理者により適正に維持管理ができている。
・指定管理者同士の連携会議を開催し、スタンプラリーを実施し想定以上の応募があり、好評であった。

【課題】
・成果を高めるため、指定管理者との調整（やり方等の検討）
・指定管理料の削減

今後の方向性・改善策等

・指定管理者同士の連携の強化
・老朽化が進んでいく施設の改修計画の策定と実施

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				
現状維持			✓	
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	指定管理者導入施設管理事業	121,779	70,336	80,821	75,210	78,815	
2	指定管理者導入施設管理事業（繰越分）	22,670					
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		144,449	70,336	80,821	75,210	78,815	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	

丹波市総合計画　令和　4　年度事務事業評価　／　令和　5　年度実施計画

事務事業名	受託施設管理事業				
事業担当課	産業経済部　観光課		事業期間	平成　18 ～　無期　年度	
	所属長	藤原　猛雄	担当	中川　秀晴	担当

位置づけ			
総合計画	まちづくり目標	【６】丹波力を活かした創意ある元気なまち	
	施策目標	3【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう	
創生総合戦略	基本目標		
	施策		
まちづくりビジョン	取組項目		
根拠法令・個別計画等	丹波市観光・商工業振興ユニティプラン		

計画（PLAN）					
事務事業	対象（誰を、何を）	受託施設に訪れた利用者			
	目的 ベストな状態 （期待される効果）	受託施設（国道175号山南休憩施設、簡易パーキング氷上）を活用し、観光客への観光情報の発信及び「おもてなしの心」を基本とし、本市のイメージアップにつなげる。			
	概要 （具体的手段・全体計画）	受託施設の適切な維持管理と観光情報の発信を行う。 ・実施方法：業務委託 ・委託先：国道175号山南休憩施設⇒丹波市商工会 簡易パーキング氷上⇒（一社）丹波市観光協会			
	令和４年度の事業概略	・国道175号山南休憩施設維持管理業務 ・簡易パーキング氷上維持管理業務	令和５年度の事業概略	・国道175号山南休憩施設維持管理業務 ・簡易パーキング氷上維持管理業務 ・交通誘導警備業務	

実施（DO）

コスト（単位：千円）（評価年度は実績、計画年度は予算）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出　総事業費　Ａ＋Ｂ	9,440	11,691	11,904	10,139	12,040	11,055	
直接事業費Ａ	8,256	7,961	8,310	8,157	10,058	9,073	
総人件費計（Ｅ＋Ｈ）Ｂ	1,184	3,730	3,594	1,982	1,982	1,982	
職員従事者数（人・年）Ｃ	0.16	0.50	0.45	0.26	0.26	0.26	
【平均人件費】Ｄ	7,400	7,460	7,620	7,430	7,430	7,430	
人件費Ｅ＝Ｃ×Ｄ	1,184	3,730	3,429	1,932	1,932	1,932	
会計年度任用職員従事者数（人・年）Ｆ	0.00	0.00	0.07	0.02	0.02	0.02	
【平均人件費】Ｇ	2,000	2,360	2,360	2,530	2,530	2,530	
人件費Ｈ＝Ｆ×Ｇ	0	0	165	51	51	51	
歳入　特定財源	8,043	7,965	8,312	8,157	8,773	8,773	
国・県支出金	7,801	7,716	8,068	7,876	8,469	8,469	
借入金（地方債）	0	0	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
その他特財	242	249	244	281	304	304	
一般財源	1,397	3,726	3,592	1,982	3,267	2,282	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	施設利用者数	人	目標	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000	
			実績	92,223	79,705	63,244	88,786			
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
コスト	1施設当たりコスト	千円	目標	-	-	5,953	5,070	6,021	5,528	
			実績	-	5,846	5,952	5,527			
コスト			目標							
			実績							

指標の推移等の背景・分析	今年度は、令和2年度及び3年度に比べ、施設利用者もコロナ禍前に戻りつつあるが、影響は継続している。

事務事業名	受託施設管理事業		
事業担当課	産業経済部　観光課	事業期間	平成　18 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	休憩施設としてだけでなく、観光情報の拠点として情報発信し、市内周遊を促進するため必要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	A	維持管理に係る費用は国からの委託金で賄っており、経費の大半が人件費となっているため、コスト削減は困難である。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	指標に対する評価として、今年度に入ってもコロナ禍による影響は少なからずあり、目標値には達していないが、昨年度に比べ利用者数は増加している。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	該当なし	

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
両施設とも簡易パーキングではあるが、道路情報をはじめ、市の観光情報の発信ができている。

【課題】
受託者となる候補者が少ない。

今後の方向性・改善策等

両施設とも経費の大半を人件費が占めており、安定的に人材を確保する仕組みを構築する。

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				
現状維持			✓	
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	受託施設管理事業	7,961	8,310	8,157	10,058	9,073	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		7,961	8,310	8,157	10,058	9,073	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	